

あおぞら



NPO 法人 あいかわ工房
広報 VOL.66 2024.8.01
編集 あいかわ工房編集委員会
発行責任者 熊谷直丈
ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
TEL 046-281-1157



上高地 明治時代にイギリス人宣教師のウォルター・ウエストンが前穂高岳へのルートとして通り現在は素晴らしい景観が人々を惹きつけています。上の写真は名所となっている河童橋。下の写真は、大正4年に焼岳の噴火で梓川が堰き止められてできた大正池。

少し涼を感じて頂ければ・・・





5月18日(土)には町長の代理として後藤昭弘民生部部長・町議会より井出一己議長・佐藤圭介県会議員・石井康弘社会福祉協議会会長・福祉支援課より中山卓也課長・小島亘主幹を来賓としてお招きして、NPO 法人あいかわ工房 の通常総会を開催しました。令和5年度の事業報告・会計報告・6年度の事業計画・収支予算を理事・監事・会員の皆様のご承認を頂きました。

ご来賓の皆様には、励ましのご挨拶を頂き、厚く御礼申し上げます。

決算内容等につきましては、公表制度に基づきインターネットでいつでも閲覧できますので、時間のある時にお目通し頂きたくご案内いたします。

令和4年度 事業売上 8,361,650円 工賃支払い総額 8,211,565円
延べ出席人数 4,752人 年間平均工賃月額 34,992円

令和5年度 事業売上 7,138,406円 工賃支払い総額 6,976,897円
延べ出席人数 4,662人 年間平均工賃月額 30,056円

このように、令和4年度と5年度では工賃月額に4,936円もの差が出てしまいました。原因はお仕事を頂いている企業様の内1社が中国向け機械の出荷が激減してしまい、他のお仕事を頂くように各企業様に働きかけましたが、結果的に120万円もの売り上げが減少してしまいました。

毎年お渡ししている、源泉徴収票の合計額を12で割るとご自分の平均月額を計算することが出来ます。

しかし、今年度に入って順調に戻ってきましたので、これから挽回してまいります。これらの数字から、6 年度から 8 年度までの皆様への工賃向上計画を作成して、一緒にご理解頂くことが義務付けられています。

事業所名	あいかわ工房				事業種別	就労継続支援B型			
平均工賃の推移	前々年度(令和4年度)実績				前年度(令和5年度)実績				
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期	
	月額	27,499	43,083	34,992	月額	25,223	35,067	30,056	
	時間額	263	426	340	時間額	262	385	321	
平均工賃の目標	今年度(令和6年度)目標				令和7年度以降の目標				
	期	上半期	下半期	通期	期	7年度	8年度		
	月額	270	390	30,100	月額	30,120	30,130		

この様な計画で3年間の計画をしております。

神奈川県全事業所の平均工賃は、月額 15,794 円となっています。



災害に備えて、

あいかわ工房は建築の時から、火災予防のためにガス給湯器ではなく、電気温水器を採用しています。しかし、17 年もの使用で熱源部分が故障したので、交換をしました。

熱源部分だけの交換が出来ず、タンク本体も交換となりましたが、タンクは異常が無いので災害時に使えるように設置をしました。水が入ったままでは水質が悪くなるので、給水から切り回しをして常に新しい水が通る様にしました。

これで、新しい温水器にはお湯が 370 ㍓とこのタンクに 370 ㍓が確保されましたので、災害時に断水しても 30 人が 1 人 25 ㍓使用することが出来ます。

一般的に災害時には飲料・調理用で 1 人 1 日 3 ㍓必要とされていますので、1 週間分ほどの量が確保出来ました。

災害対策

今年は元日から能登半島で大きな地震があり、多くの人の命が奪われ、家屋への被害も大きなものでした。

あいかわ工房では、震災が発生した時には、最悪を考えて最低でも 3 日間は事業所内で、過ごせるように設備と備品・食料を用意しております。

アレルギーのある方の食事は、個人差があるため判りませんので、予め持ち込みをお願い致します。

お薬に付きましては、外出先での震災も考えて、常に 10 日分はお薬手帳と共に、持ち歩くようにして下さい。

愛川町では要援護者避難支援制度・救急医療情報活用支援事業などがあり、詳しくは町のホームページを御覧ください。適用は身体 1 級 2 級療育 A1・A2 精神 1 級の方が該当します。

しかし、災害が発生して優先的に支援して貰えるものでもなく、火災や倒壊家屋などからの救助の方が優先されます。

一番頼りになるのは『自分』と『周りにいる人』です。つまり『自分の身は自分で守る』ことなので、隣近所の方たちとの付き合いを大切にして下さい。いざという時に助けてもらえるのは近くにいる方達です。



久しぶりの外出なので、広い園内の散策を楽しめました。



6月7日(金)
みんなの時間は、相模原北公園に、アジサイの鑑賞に行きました。



四月生まれ



六月生まれ



六月生まれ



六月生まれ



七月生まれ



七月生まれ



新人紹介

令和6年3月1日より勤務させていただいております

かくらい たくみ
加倉井 拓海 です

この度は福祉大学を卒業して、あいかわ工房に務める運びとなりました。

子どもの頃から、人の役に立ちたいという夢があった私は、大学3年生と4年生の時、2回の実習で、就労継続支援B型事業所に配属されました。

そこでの経験として、人と関わることの喜び、また難しさに見合ったやりがいを感じました。

本来持っていた『人の役に立ちたい』ということにもそれは合致するので、在学中に就労継続支援事業所での就職を考えておりました。

あいかわ工房に採用して頂いてから早いもので間もなく半年が経とうとしております。

先輩の皆様を支えられながら、毎日が新たな発見や利用者の皆様とのふれあい、感謝、喜びなど、そして試行錯誤を繰り返しながら進んで参りますので、これからも宜しくお願い致します。

ちよつと明るい話題も…

工房建物の駐車場側に、ちよつとしたスペースがあるので、その部分を利用して『あいちちゃんサービス』の石井慎一さんが野菜やお花を植えて下さっています。以前もグリーンカーテンを作ろうという植えていたのですが、日常業務に追いかけてしまいい、雑草だらけになっていたので外部の方にやって頂けることとはとてもありがたいことです。



暑い中、熱心に季節の花などを植えてくださるので、『今日もきれいに花が咲いてるなあ』とか『トマトが赤くなってきたなあ』とか季節の移ろいを感じる楽しみが増えました。

作業の進行状況や提出書類に追われて心の余裕を無くしてしまいがちになることもあります。が、花や緑がある生活はグスグスとした気持ちと和らげてくれます。水やりを忘れないように、素敵な空間を保っていききたいと思っています。



今はひまわりが咲いています。が、秋には何が咲くのかなあ、とても楽しみです。工房に通っての作業は大変だと思いますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

毎月第一金曜日の午後から、『みんなの時間』として、いろいろな企画をしています。

最大の目的は利用者の皆さん同士がお互いを理解し合って頂くこと。そしてこの時間を使って色々な発言をして貰い、他の人に自分の思いを伝えられるようになって頂くことです。

3ページの災害対策の欄でも述べましたが、『いざという時にはそばにいる人に助けを求めなければなりません。』

その時に、『助けて下さい』と言えるようになって頂きたい。そんなことを『受援力』と言っています。が、この力を付けて頂くために、午後からの生産のための時間を割いてまで、みんなの時間を作っています。

阪神淡路大震災・東日本大震災そして元日の能登半島地震・梅雨の末期から7月末に掛けての集中的な豪雨による水害・がけ崩れなど災害はいつ来るか判りません。『備えあれば憂いなし』と昔から言われていますように、ご家族でもう一度災害について話し合ってみて下さい。

熊谷